

- 11 トラック競技のタイムレースで、出場者が9人以内になった場合は1レースで実施する。
- 12 男子・女子走幅跳は、A・Bピットの同時進行で実施する。
- 13 三段跳の踏切板の距離は、競技者の状況等に合わせて審判長が決定する。
- 14 競技用具は主催者が用意したものを使用すること。ただし、棒高跳のポール以外の個人所有の用器具の使用希望者は、競技開始1時間前までに検査申請書（検査場所に配置）を提出し、係員の検査を受けること。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。
検査場所は用器具庫1（第4ゲート横）で行う。競技終了後、同場所で返却する。
- 15 滑り止め（炭マグ）は主催者が準備したものを使用する。不足する場合は各自で準備すること。
- 16 バーの上げ方は次のとおりとする。（天候などにより変更することがある）
走高跳：男子 1m65 から 2m00 までは5cm きざみ。その後は3cm きざみ。
女子 1m35 から 1m55 までは5cm きざみ。その後は3cm きざみ。
棒高跳：男子 2m00 から 3m60 までは20cm きざみ。その後は10cm きざみ。
女子 1m80 から 10cm きざみ。
- 17 補助陸上競技場での練習は8時30分から15時までとする。
補助陸上競技場は、1・2レーン中は・長距離練習、3～5レーンはスタート練習、6～8レーンはハードル練習とする。
ハードルの設置は、スタートから3台目までとする。
- 18 補助陸上競技場でのやり投の投てき練習は、11:00～12:00のみ可能とする。
ハンマー投、円盤投の投てき練習、ならびに棒高跳の練習は、競技開始90分前から本競技場内で実施する。
いずれも競技役員への指示に従い、安全には十分注意して行うこと。
- 19 携帯電話・アップルウォッチ、その他通信が可能な機器や、ラジオ・CD・iPod等、遊興機器の競技場内への持ち込みを禁止する。
- 20 競技中に発生した傷病については本部で応急処置は行うが、その後は本人の責任において処置すること。
- 21 芝生内での水分補給は「水」のみとする。スポーツドリンク等は持ち込まないこと。
- 22 競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合、本人がなお競技続行の意思を示しても審判長（または権限を委譲された審判員）が中止を命じた時は、直ちに競技を中止しなければならない。
- 23 メインスタンド1階への選手の入退場は、第1・4ゲートの出入口を利用すること。（正面玄関からの入退場は禁止する）
- 24 雨天走路の利用は一方通行（東から西）とする。又、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。
- 25 競技終了後は、ダッグアウトを通過して第1ゲートから退場すること。
- 26 競技場周辺のジョギング・ウォーキングコースは、一般の方も利用するのでスパイクの使用、ハードルの設置は禁止する。
- 27 勝手に壁、扉等にテープや押しピン等での張り紙は禁止する。